FileMaker 18 プラットフォーム

ワークプレイスに革新をもたらすカスタム App を作成しましょう。

FileMaker Pro Advanced

ソフトウェアの説明 : FileMaker Pro Advanced は、これ一つでお客様ご自身の業務に合わせたカスタム App を作成できるツールです。連絡先、目録、プロジェクトなどの管理に活用できます。

使用対象者 : 企業、非営利団体、教育機関。開発経験や IT スキルが豊富でなくても、誰でもカスタム App を作成することができます。

用途 : チームでの情報の作成、管理、および共有。

- iPad、iPhone、Windows、Mac、Web で使用するカスタム App を作成できます。
- Windows および Mac コンピュータ上でカスタム App を実行できます。
- より高度な開発ツールを使用してカスタム App をより素早く効率的に設計および展開できます。
- 堅固な診断機能や強力な監視ツールなどを使用できます。

FileMaker Go

ソフトウェアの説明 : FileMaker Go はカスタム App を iPad および iPhone 上で実行します。App Store で入手できます。

使用対象者 : 外出先やモバイル環境でチームと情報共有できるようにしたいユーザ。Face ID による認証で iOS からアクセスしたいユーザ。

用途 : 倉庫内での在庫確認や棚卸、外出先での顧客情報の検索や納期の確認、見積書や請求書の作成や送信など、さまざまなモバイルタスクの遂行。

BYOD(個人端末の業務利用)で、外出先で撮影した写真を個人端末に保存することなく直接クラウド上に位置情報とともに保存する現地検査の実施。

(FileMakerGoで認証できる主なバーコード種別 : CODE39、CODE128、EAN-13、ISBN-13、QRコード、UPC-E、コーダバー(NW-7)、ITF-14、Aztec、DataMatrix など全 21 種)

FileMaker Server

ソフトウェアの説明 : FileMaker Server は高速で信頼性に優れたサーバーソフトウェアです。自社のオンプレミス環境でカスタム App を安全に共有するために使用します。カスタム App を直接 Web ブラウザで瞬時に実行する画期的な Web テクノロジーである FileMaker WebDirect が含まれています。ODBC/JDBC、REST API による外部データ連携、Microsoft Azure / Google / Amazon アカウントによる OAuth 認証、AES256bit によるデータベース暗号化、SSL/TLS1.2 による通信暗号化などに対応しています。

使用対象者 : 24 時間/週 7 日の可用性と信頼性、カスタム App をリモートから簡単に管理する機能、自動バックアップ、管理タスク(スクリプト)をスケジュールで自動実行して業務効率化を実現したいユーザ。

用途 : FileMaker Pro Advanced(macOS、Windows OS)、FileMaker Go(iOS ユーザ)、FileMaker WebDirect (ブラウザアクセスユーザ)とをシームレスにつなぐカスタム App の安全な共有。

社内の基幹業務システム(Oracle Database、Microsoft SQL Server、IBM Db2、PostgreSQL など)と連携し、外出先でも安全に、暗号化通信を用いて iOS デバイス(FileMaker Go)から社内のデータにアクセスするカスタム App の運用。

FileMaker Cloud for AWS

ソフトウェアの説明 : FileMaker Cloud for AWS では、安全かつ確実にクラウド上のカスタム App にアクセスできる、ファイルメーカー社が提供する AWS 専用のクラウドサービスです。FileMaker WebDirect も使用できます。

使用対象者 : サーバーへの展開やメンテナンスをすることなく、FileMaker プラットフォームのシンプルさと AWS の可変柔軟性、パフォーマンスを利用したいユーザ。

用途 : FileMaker Pro Advanced、FileMaker Go、FileMaker WebDirect ユーザとの、カスタム App 上での安全でリアルタイムな情報共有、および クラウド環境でのセキュアな情報共有。

FileMaker Pro Advanced

必須条件

Windows†
Windows 10 Pro
Windows 10 Enterprise
Windows 8.1
Windows 8.1 Pro
Windows 7 SP1 Professional
Windows 7 SP1 Ultimate

CPU : 1 GHz 以上の 32 ビット (x86) プロセッサまたは 64 ビット (x64) プロセッサ
RAM : 1 GB (推奨 : 2 GB 以上)

Mac†
macOS Mojave 10.14
macOS High Sierra 10.13

RAM : 2 GB (推奨 : 4 GB 以上)

技術仕様の詳細については以下をご覧ください :
www.filemaker.com/fmpatechspecs/jp

FileMaker Go

必須条件

FileMaker Go 18 は iPad および iPhone の両方で使用できる単一のユニバーサルアプリケーションです。

iOS 12.2 以上が実行されている iOS デバイスに対応しています。

技術仕様の詳細については以下をご覧ください :
www.filemaker.com/gotechspecs/jp

App Store からダウンロード

FileMaker Server

必須条件

Windows†
Windows Server 2016 Datacenter および Standard (デスクトップエクスペリエンスをインストール済み)
Windows Server 2012 R2 Standard

Mac†
macOS Mojave 10.14
macOS High Sierra 10.13

CPU : Dual Core
RAM : 8 GB
ハードドライブ : 100 GB 以上、ファイルサイズに依存、50 GB 以上の空き容量が必要。ソリッドステートドライブ (SSD) を使用することを推奨します。

技術仕様の詳細については以下をご覧ください :
www.filemaker.com/servertechspecs/jp

FileMaker Cloud

必須条件

サポートされるデスクトップブラウザ :
Safari 12.x
Chrome 73 以上
Internet Explorer 11.x
Microsoft Edge 44

技術仕様の詳細については以下をご覧ください :
www.filemaker.com/cloudtechspecs/jp

† 記載されているバージョンは必須条件です。FileMaker, Inc. により認定される将来バージョンでも動作する可能性があります。

新機能

FileMaker Pro 18 Advanced

データインポートのための新しいユーザインターフェース — 新しい [フィールドデータのインポート順] ダイアログボックスを使用することで、インポートしたソースデータをより簡単に FileMaker フィールドにマッピングできるようになりました。

起動時に特定のカスタム App を開く — カスタム App を見つけやすくなりました。FileMaker Pro Advanced を開くときに、特定のカスタム App を開きます。

ファイルバージョンの比較 — FileMaker ファイルのコピーを XML 形式で保存します。これにより、ファイルバージョン間で加えられた変更点をより簡単に比較できるようになりました。

ファイルベースのスクリプトステップ — 外部データファイルの読み取り、書き込み、および管理を行うスクリプトを作成してログファイルを作成したり、カスタム形式でデータをエクスポートしたりできるようになりました。

スクリプトエラーログ — 自動化されたワークフローをより簡単にデバッグできるようになりました。スクリプトステップを使用して、スクリプトエラーに関する情報をログファイルに書き込みます (プレビューリリース版の機能です)。

While 関数 — 条件が真の間にロジックを繰り返してから、結果を返します。一部の再帰カスタム関数の使用が不要になります。

SetRecursion 関数 — 再帰と式内部のループの最大繰り返し数を任意の回数に設定できます。

新しいセキュリティアクセス管理 — 新しいアクセス権によって、開発者は、ファイルの他の部分への完全アクセス権を付与する必要なしに、アカウントアクセス管理を他のチームメンバーに委任できます。

新しい [セキュリティの管理] ダイアログボックス — 合理化された [セキュリティの管理] ダイアログボックスによって、より効率的にカスタム App へのアクセスを管理できます。

プラグインセキュリティの機能強化 — 開発者がプラグイン SDK を使用してプラグインにデジタル署名をすることができるようになりました。署名されていないプラグインを読み込む前に、ユーザに警告を通知します。

デフォルトのファイルアクセス保護 — 新規作成されたファイルでは、[このファイルへの参照の使用に完全アクセス権を要求する] がデフォルトで有効になります。

詳細情報 :
www.filemaker.com/jp/products/filemaker-pro-advanced

FileMaker Go 18 for iPad & iPhone

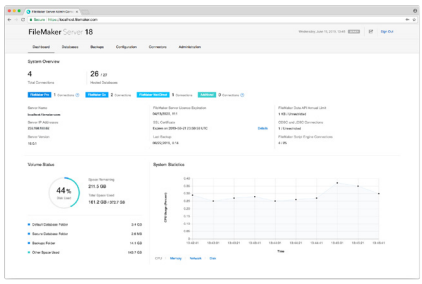
起動時に特定のカスタム App を開く — FileMaker Go の起動時に特定のカスタム App を開けるようになりました。設定するには、モバイルデバイス管理 (MDM) が必要になります。

既存の PDF に追加 — スクリプトステップを使用して指定された PDF ファイルにさらにデータを追加できるようになりました。

バーコードのサポートを拡張 — FileMaker Go がサポートするバーコードのタイプに次の 4 つが追加されました : PDF417、ITF-14、Aztec、Data Matrix。

詳細情報 :
www.filemaker.com/jp/products/fmgo/features.html

FileMaker Server 18



起動復元 — 新しい復元ログにより、ハードウェアまたはソフトウェアがクラッシュした後に、FileMaker ファイルを自動的に復元できるようになりました。

FileMaker Server Admin Console の機能強化 — 新しい改善点として、CLI を使用したデフォルトのバックアップ時間の変更、スクリプトスケジュールの成功/失敗の表示、より明確なデータベースステータスの表示、Admin Console が最後に起動した時間の表示などができるようになりました。

サーバー監視の機能強化 — Zabbix を使用してサーバーリソースや指標をより簡単に監視できるようになりました。同時に複数のサーバーも監視できます。

FileMaker Data API の機能強化 — スクリプト名、レイアウト名、レイアウトスキーマを含む XML メタデータをサポートするようになりました。

FileMaker Admin API の標準化 — トライアル機能ではなくなった FileMaker Server の FileMaker Admin API は、OpenAPI 仕様に基づいています。

詳細情報 :
www.filemaker.com/jp/products/fms/features.html

FileMaker Cloud for AWS

プラットフォームと同じ機能 — FileMaker Cloud for AWS 1.18 コードベースでは、FileMaker 18 プラットフォームの新しい機能がサポートされています。

ホストにアップロード — FileMaker Server と同様に FileMaker Cloud for AWS にも [ホストにアップロード...] メニュー項目を使用してアップロードすることができます。

詳細情報 :
www.filemaker.com/jp/products/filemaker-cloud/

© 2019 FileMaker, Inc. All Rights Reserved.FileMaker、ファイルメーカー、FileMaker Cloud、FileMaker Go、及びファイルフォルダロゴは、FileMaker, Inc. の米国及び ／またはその他の国における登録商標です。FileMaker WebDirect は、FileMaker, Inc.の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker
An Apple Subsidiary